

第 47 回南信地区スポーツ少年団競技別交流大会軟式野球競技開催要項

- 1 目 的 スポーツ少年団活動の活性化を図るため、団員に試合を主とした交流の場を提供し、技術の向上を目指すとともに団員の連帯感を高めることを目的とする。
- 2 主 催 南信地区スポーツ少年団連絡協議会
- 3 共 催 長野県スポーツ少年団、諏訪市スポーツ協会、諏訪市教育委員会
- 4 主 管 諏訪市スポーツ少年団
- 5 期 日 **令和 7 年 5 月 1 7 日（土）、1 8 日（日）** 予備日 5 月 2 4 日（土）、2 5 日（日）
- 6 会 場 クリーンレイクグラウンド、スポーツ広場
(アップ会場 西山グラウンド、ヨットハーバーグラウンド)
- 7 開会式・閉会式 クリーンレイクグラウンド
- 8 日 程 5 月 1 7 日（土） ○グラウンド開場 午前 7 時 0 0 分～
○受 付 午前 7 時 3 0 分～4 5 分
○監督会議 午前 8 時 0 0 分～
○開 会 式 午前 8 時 2 0 分～
○競技開始（クリーンレイク） 午前 9 時 0 0 分～
○競技開始（スポーツ広場） 午前 9 時 1 5 分～

5 月 1 8 日（日） ○競技開始 午前 9 時 0 0 分～
(準決勝 決勝戦、3 位決定戦) ○閉会式 競技終了後
- 9 参加申込 別紙申込書データにて、下記アドレスへメールで申込みをお願いします。
【E-mail】 stairen@po30.lcv.ne.jp
〒392 - 0016 諏訪市豊田 8 1 1 - 1 しんきん諏訪湖スタジアム内
諏訪市スポーツ少年団事務局宛
★申込期限 令和 7 年 5 月 7 日（水）
★注意事項 審判員 3 名以上は必ず入れること。
- 1 0 参 加 料 参加団 1 団につき 5, 0 0 0 円を申込みと同時に下記に振込むこと。
振込先 八十二銀行諏訪支店
口座番号 普通 3 1 2 5 9 4
口座名 スワシスポーツショウネンダンホンブ
ホンブチョウ ゴミ ヨシオ
- 1 1 組み合わせ 主管にて責任抽選とする。
- 1 2 そ の 他 ①雨天中止の場合は、午前 6 時に各団代表者に連絡する。
※降雨が続く場合等は、前日の夕方頃に判断し連絡します。
②各団は団旗及びプラカードを持参すること。
③大会中の事故については、応急処置のみとします。
(スポーツ安全保険には各団で加入してください。)
④大会中のゴミ等(弁当の容器等)は、スポーツ少年団の団員、指導者らしく各団で責任をもって片付け、持ち帰ること。
⑤会場内の喫煙は行わない。
⑥上位 2 チームは、県大会の出場権を得る。
⑦1 日に 3 試合行う場合があるので、ご承知おきください。

大会規定及び方法

1. 大会特別競技規則

- (1) チーム編成については、各団1チームとし、代表者1名、指導者3名以内、スコアラー1名、団員（小学生のみ）25名以内とする。
- (2) 試合時間は、競技に関する連盟特別規則に則り、健康維持を考慮し、1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。
- (3) 試合回数は6回とするが、上記時間に達した時はその回までとする。
- (4) 15分以上同一チームが守備をしている場合、主審の判断で給水時間を設ける場合がある。
- (5) 上記時間内において6回を完了して同点の場合は、9回までを限度に特別延長戦を行う。
◆特別延長戦 継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死1,2塁の状態として1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。（特別延長戦終了後、なおも同点の場合は、抽選によって勝敗を決定する）
- (6) 降雨等により、試合続行が不可能な場合は、4回をもって成立する。なお、勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決定する。
- (7) ベンチは組み合わせの若番を一塁側とする。
- (8) 4回終了時、7点差でコールドゲームとする（決勝戦にも適用する）。
- (9) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合はペナルティを課す。ペナルティは全日本軟式野球連盟『学童野球に関する事項』による。
- (10) 参加団体に対し、全員が各試合に出場できる機会を与えることが望ましい。
- (11) 抗議は代表指導者（監督）または当事者が行う。
- (12) 本規程に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議のうえ大会委員長（諏訪市）の権限により処理する。
- (13) 時間短縮のため、ボール回しは禁止する。
- (14) 1人の投手が1日に投球できるのは70球（4年生以下は60球）以内とする。試合中に規定の球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (15) ボークは、1回目から判定する。
- (16) シートノックは、1試合目5分間行う。ただし、実施はチームの判断とする。
- (17) ベンチに入る指導者は、参加申込書に記載された代表者1名、指導者3名、スコアラー1名（団員以外とし、シートノックやマネージャー行為など記録に関する以外の行為は認めない。）まではベンチに入ることができるが、試合中の交代は認めない。
- (18) メガホンの使用は各チーム1個とし、監督のみ使用することができる。
- (19) その他2025年軟式野球連盟公認規則及び学童部に関する事項によることとし、グラウンド内においては大会委員長の判断により特別ルールを採用する場合もある。
- (20) オーダー交換は前試合の3回終了時に行い、オーダー表は4枚提出すること。
- (21) 試合球は本部で用意する。
- (22) 審判の割り振りは組み合わせ表の記載で行う。

2. 危険防止のため次の用具を使用する。

- (1) 打者、次打者、走者及び走者指導者は両耳にイヤーフラップのついた打者用ヘルメットを着用する。
- (2) 捕手はマスクが分離した捕手用ヘルメットを着用すること。また、プロテクター、レガースを必ず着用すること。
- (3) 上記の各用具及びバットは、全日本軟式野球連盟公認（JSBBマーク入）の物を使用すること。
- (4) 素振り用鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない。
- (5) 金属スパイクの使用を禁止する。

- (6) 投球練習時はヘルメット・マスクを着用する。
- (7) ブルペンでの投球練習はオーダー表提出後にすること。また、指導者をつけること。
- (8) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを着用すること。
ただし、確認作業は行わない。

3. ボールボーイ

- (1) ボールボーイは試合ごとに各チーム1名ずつ出すこと（大人）
- (2) ファールボールは左右翼の選手が取って控えの選手に渡すようにすること